

平成21年6月19日

東京電力株式会社柏崎刈羽原子力発電所7号機に対する原子炉起動時の保安検査等の実施状況について（第11報）

東京電力株式会社（以下「東京電力」という。）柏崎刈羽原子力発電所7号機は、平成21年5月9日以降、原子炉を起動してプラント全体の機能試験を行っています。東京電力は、6月6日より定格熱出力100%（約140万kW）で安定させた状態で運転監視を行うなどした結果、本日、定格熱出力100%維持段階での運転状態における最終評価を終えました。これらに対する原子力安全・保安院（以下「保安院」という。）の確認状況についてお知らせします。

1. 保安院の確認結果

(1) プラント全体の機能の確認

定格熱出力100%におけるプラント運転パラメータ採取が、定められた手順書に従い適切に実施されていること、その結果が評価会議において評価され、判断基準内に収まっている等、問題がないことを中央制御室における巡視等により確認しました。

(2) プラント起動時の系統試験の確認

定格熱出力運転状態で実施された「蒸気タービン性能試験（その1）」「原子炉隔離時冷却系機能検査」「気体廃棄物処理系機能検査」について、検査官の立ち会い等により、適切な実施方法・体制の下で行われ、技術基準に適合し、所要の系統機能を有していることを確認しました。

2. 保安院の評価及び今後の対応

以上の確認結果から、保安院は、原子炉の起動に係る一連の運転操作が適切に行われ、運転パラメータに問題がないこと等を確認し、プラント全体の機能試験が適切に実施されたと評価します。今後東京電力においてはプラント全体の機能試験の評価結果についてとりまとめを行い、保安院に提出することとしています。

保安院は、これらの結果について、設備健全性評価サブワーキンググループ等において厳格に評価を行い、最終報告をとりまとめることとしています。

（本発表資料のお問い合わせ先）

原子力安全・保安院

柏崎刈羽原子力保安検査官事務所 竹本 亮

電話：0257-23-9798（直通）

原子力発電検査課長 山本 哲也

電話：03-3501-9547（直通）